（様式第１号）

みなとSDGsパートナー　登録申請書

令和 ５ 年 ３ 月 ３ 日

国土交通省港湾局長　殿

みなとＳＤＧｓパートナー登録制度実施要綱第４条第１項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

１．概要

企業・団体名	タチバナ工業株式会社
所在地	香川県高松市朝日新町３２番４５号
代表者役職・氏名	代表取締役　林　　和彦
担当者連絡先	電　話：０８７－８５１－６８４８
	メール：０８７－８５１－２５４７
ウェブサイトＵＲＬ	https://www.tachibanakogyo.com/

２．港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和６年に創業した総合建設業であり、香川県・岡山県を中心として港湾土木工事・浚渫・埋立造成工事、一般土木工事、上下水道工事、道路建設工事などの請負事業を実施している。

３側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 □社会 ✓経済	工事現場においてドローン等、電子機器を活用するＩＯＴ化を推進する。	ドローン等保有　2022:4台 → 2030:10台 電子端末(iPad等)導入 2022年：4台 → 2030年:40台
□環境 ✓社会 □経済	職員の採用において女性の比率を上昇させ、女性活躍を推進する。	女性採用割合 事務職 2022:20% → 2030:30% 技術職 2022: 0% → 2030:10%
✓環境 □社会 □経済	ボランティア活動を通して海の豊かさを守る。	海岸清掃(3回/年)及び稚魚の放流(1回/年)の実施(2030度まで毎年実施)

（次項へ続く）

（様式第2号）

企業・団体名（　タチバナ工業株式会社　）

SDGs達成に向けた具体的な取組

	カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 （公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・採用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している(研修の実施、相談窓口の設置)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・ハラスメント研修を実施している(eラーニング) ・ハラスメント相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、半日・時間単位で使用できる有給休暇制度の設置や有給休暇の取得奨励、テレワークの導入などを推進し、育児、ボランティア活動に積極的に参画できるなどの環境を整えている ・完全週休2日制を導入している								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・現在外国人の人材の雇用は行っていないが、将来的には雇用を考えている。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・社員向けの労働安全衛生講習会を実施し、雇い入れ教育、新入社員教育、送り出し教育、配置転換時の教育指導を実施している ・各現場ごとに毎日ミーティングを行い危険個所の共有や注意喚起を行っている			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・健康保険組合を通して、「こころとからだの健康相談」、「個人向け健康相談サービス『first call』」を実施している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材が活躍できる社内制度を設けている ・多様な人材の活躍状況をHPや広報誌等で積極的に発信している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している ・良好な職場環境の形成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・人間ドックの経費補助、コロナ感染対策としてPCR検査キットを常備している。 ・健康保険組合を通して保健師の派遣・指導など、健康維持に取り組んでいる			3					8									

	カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 （公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
11	環境	【３Ｒの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・廃棄物削減のための方針や計画を策定している。 ・産業廃棄物の保管場所を確保するとともに、収集から保管・処分までを適切におこなっている											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	環境	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・エネルギー使用量を算出しており、LED照明の使用を徹底し、オフィスの節電に取り組んでいる。							7.3						13				
13	環境	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・事務所の電気使用量を算出しており、削減の計画を策定するとともに、社用車のハイブリッド化、環境船（ハイブリッド船）の建造や、クールビズ・ウォームビズに取り組んでいる							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に努めている ・緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地の創出・保護に取り組んでおり、「稚魚の放流事業」を平成21年より実施している						6.6									15		
16	環境	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・自社の水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定している ・事業所内設備に節水器具を使用している						6.4 6.6											
17	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001を認証取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	環境	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・HP等で環境情報を公開している												12.6					
19	環境	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・省エネ機器を導入している（LED照明の使用）、環境船（ハイブリッド船）を建造し運航している							7.2						13				
20	環境	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・認証製品（森林、パーム油、ゴム、コーヒー等プランテーションにより生産される原材料、天然水産物および養殖水産物）を利用している ・合法材を使用していることの確認を行っている												12.2	13	14	15		
21	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・製品・サービス（工事施工）時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している ・工事施工の安全確保の観点を踏まえた作業安全手順書を作成している			3.9									12.4					
22	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・顧客の声を共有するための基本方針・体制・ルールを策定し、研修を実施している ・ISO9000シリーズ認証取得									9								
23	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・工事施工で使用する材料について再生材を積極的に活用している ・グリーン製品の購入につとめている ・ISO14000シリーズ認証取得						6						12	13	14	15		

	カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 （公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
24		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・CO2削減の為、作業船を環境対応船（ハイブリッド船）として建造している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・四国地方整備局が行っている防災活動（航路啓開計画・訓練）に参画している ・海岸清掃などの地域の清掃活動に参加している ・香川県さわやかロードに参画している ・「稚魚の放流事業」を行っている				4							11			14	15		17
27		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				
28	組織体制	【内部管理体制】 ・SDGｓの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している								8	9								17
29		【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・コンプライアンスマニュアルを制定し、定期的に教育を行うことにより確実に遵守できる体制を構築している。																16	
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・担当者及び責任者（担当役員）を、任命している																16	
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	・適宜ステイクホルダーとのﾐｰﾃｨﾝｸﾞ等を開催し、意見を経営に生かすなど、双方向コミュニケイションに努めている ・学生（リクルート）への見学会などを実施している。又、インターンシーップ等の受入を行っている。																16	17
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・リスクマネジメントガイドラインを制定し、その中でリスク項目管理表に基づきリスクを特定・評価しマネジメントを行うプロセスを整備している。																16	
33		【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・CSR方針を策定し、HPで取り組みを公表している																16	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・南海トラフ地震に備えてBCPを策定し、訓練と見直しを行っている。 ・香川県BCP認証取得（平成22年3月）									9		11		13.1			16	
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・後継者の指導・育成に取り組んでいる								8	9								17

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 （公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知・教育している	・コンプライアンスマニュアルを制定し、汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている(コンプライアンス教育(eラーニング)を実施している																16 16.5	
【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知・教育している	・コンプライアンスマニュアルを制定し、会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している ・不公正競争行為の禁止を含む行動規範を整備し、明文化している ・仕入先等に対し、不当な値引き圧力がないか、チェックしている																16	
【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	・コンプライアンスマニュアルを制定し、知的財産に関する研修や勉強会など、侵害防止に対する取り組みを行っている								8.2 8.3	9								
【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	・個人情報保護に対する基本方針を定めて公表するとともに、体制を整備している ・情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している																16	